

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ムラサキシジミ	シジミチョウ科	遊歩道で日向ぼっこする青 藍のシジミチョウ	◎	○	◎	宮城県以南



ハイム南遊歩道 ♀ (メス) 11月上旬



ハイム南遊歩道 9月中旬 三齢幼虫とアリ



ハイム南遊歩道 ♀ (メス) 11月上旬

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹						発生回数/年		越冬形態			
アラカシ、クヌギほか (ブナ科)						3~4		成虫			

ムラサキシジミはハイム内で卵から育って蝶になり、幼虫は生垣に使われているアラカシを食べます。丁度新芽が吹く頃に卵が孵化するという絶妙のタイミングで硬い葉はとても生まれたての幼虫には歯が立ちません。通年見られアラカシの新芽が伸びる9月頃に特に幼虫が増え周りにはアリがいます。アリは幼虫の出す甘い分泌液のとりこになり帰巢本能が麻痺してしまいひたすら分泌液をなめながら、幼虫のボディガードとしての役目を果たすというかなり不平等な関係に甘んじています。秋の午前中には遊歩道のアラカシで青藍色の羽を開いて日向ぼっこしています。尚、ハイムにはマテバシイを食樹とするムラサキツバメも生息していてこちらには後ばねに尾(尾錠突起)があるところで見分けられます。

→  
裏は地味  
ハイム南遊歩道  
9月中旬



→  
ムラサキツバメ  
♀ (メス)  
ハイム南遊歩道  
11月上旬





← 朝の光に開翅 ♂ (オス)  
多摩川久地 10月上旬

↓ ♀ (メス) の開翅  
東高根森林公園 9月上旬



♂ (オス) の開翅 →  
多摩川久地 11月上旬

